

令和 7 年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努める。

1. 青少年海外派遣

(1) まつやま中学生海外派遣 2025

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

ア. 応募・選考

前年度中に、「中学生世界体験プロジェクト」に参加した松山市在住の中学 2・3 年生 94 人のうち、応募のあった 62 人に対して面接審査等を実施し、30 人を選考した。

イ. 事前研修及び壮行会

事前研修：6 月 15 日、6 月 29 日、7 月 13 日（3 回実施）

壮行会：7 月 13 日 10:00～11:00

ウ. 派遣

(ア) アメリカ班

期 間：7 月 22 日～7 月 29 日 8 日間

派遣先：サクラメント市

派遣団：中学生 10 人（男 4 人、女 6 人）

引率教師 2 人

協会職員 1 人

活動内容：・州議事堂、市庁舎等の見学

・旧市街、鉄道博物館見学

・コロマ地区での砂金採取体験

・カリフォルニア・ステートフェア見学

・現地姉妹都市協会との交流会

・ホームステイ ほか

(イ) ドイツ班

期 間：7 月 22 日～8 月 1 日 10 日間

派遣先：フライブルク市

派遣団：中学生 10 人（男 3 人、女 7 人）

引率教師 2 人

協会職員 1 人

活動内容：・市役所表敬訪問

・ゲーテ・ギムナジウム校訪問及び生徒との交流

・環境ラリーでシャウインスランドへ遠足

・市庁舎食堂料理長とドイツ料理教室

・ドイツの伝統木材工房体験

・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会 ほか

(ウ) 韓国班

期 間：7月30日～8月4日 6日間

派遣先：平澤市

派遣団：中学生 10人（男2人、女8人）

引率教師 2人

協会職員 1人

活動内容：・パジュ DMZ（軍事境界線）訪問

・民族衣装試着体験

・韓国民俗村

・平澤市通伏市場見学

・ホームステイ ほか

エ. 派遣報告

帰国後、派遣先ごとに報告用動画を作成し、まつやま国際交流センターホームページ上で公開し、広く周知を図った。

2. 大学生海外派遣事業

姉妹・友好交流都市の同世代との交流を通して、それぞれの国の現状を知り、将来の友好交流の基礎となる絆を作ることを目的に、市内の大学生を友好交流都市・台湾・台北市へ派遣する事業を実施し、現地の大学生と交流を図った。

ア. 応募・選考

市内の大学生を対象に募集を行い、応募のあった5人に対して面接審査を実施し、5人を選考した。

イ. 事前研修

事前研修：12月7日

ウ. 派遣

期 間：3月8日～3月12日 5日間

派遣先：台湾・台北市

派遣団：大学生 5人（男1人、女4人）

協会職員 1人 市職員1人

活動内容：・台北市立大学でのワークショップ（文化・歴史、書道、手作り小燈籠、空手など）

・台北市立大学生との台北市内フィールドワーク
（士林夜市、中正紀念堂、大稻埕、ランタンフェスティバル）

エ. 松山市表敬訪問

日 時：3月26日 14:00～14:20

会 場：市役所本館3階 第1会議室

内 容：派遣生が活動内容を報告した。

3. 姉妹友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

(1) アメリカ・サクラメント市青少年受入交流

ローズモント高校の生徒をホームステイ受け入れし、さらなる交流を行った。

期 間：7月4日～7月11日 8日間

参 加 者：生徒10人・引率教諭2人

交流内容：ホームステイ

4. 海外からの親善訪問団等受入交流

市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めることを目的に、姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ親睦を深めた。

(1) フライブルク市代表団受入

姉妹都市のドイツ・フライブルク市のマーティン・ホーン市長らフライブルク市代表団が松山市長を表敬訪問し環境分野をはじめ、文化交流などを図った。

① 受入期間：4月11日～4月14日

② 来 訪 者：市長、副市長、市議会議員、SCフライブルク理事 ほか17人

③ 内 容：道後温泉視察、松山市長表敬訪問、二の丸史跡庭園視察、ニンギニアスタジアム見学、愛媛FC試合観戦

(2) 平澤市代表団受入

友好都市提携20周年を記念して鄭長善（ジョン・ジャンソン）市長をはじめとする平澤市代表団が来松し、「えひめ・まつやま産業まつり」に参加したほか、平澤農楽保存会が伝統芸能を披露した。

① 受入期間：11月14日～11月17日

② 来 訪 者：平澤市長 ほか43人

③ 内 容：松山市長表敬訪問、産業まつり参加、中島みかん狩り

(3) 愛媛マラソン平澤市訪問選手団受入

平澤港マラソンに松山選手団が参加したことに伴う相互交流として、平澤市から選手及び市関係者が松山市を訪問。視察や交流をコーディネートした。

① 受入期間：1月30日～2月2日

② 来 訪 者：選手3人、市関係者4人

③ 内 容：第63回愛媛マラソンへの参加
ボランティア通訳による選手のサポート

5. 地球人まつり

通算28回目となる地球人まつりを愛媛県国際交流センター（E P I C）との共催で開催し、地域で暮らす外国人住民との直接的な交流ができるよう、まつやま花園日曜市に出展した。

①日 時：11月23日 10:00～15:00

②内 容：・ワールドバザール（世界の料理や雑貨の販売）

6か国（ナイジェリア、インドネシア、バングラデシュ、フィリピン、イギリス、ネパール）

・民族衣装試着体験

・平和を願うメッセージで作る世界地図

・国際交流ワークショップ（E P I C担当）

県内の国際交流団体2団体4ブース（E P I C含む）が、気軽に楽しめるワークショップを開催した。

6. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）を活用してオーナー制度を実施。ソラリスと姉妹都市フライブルクについて理解を深めてもらう機会を提供したほか、児童を対象にソラリス講座を実施した。

（１）ソラリスオーナー制度

人 数：２０人

期 間：令和７年５月～令和８年３月

内 容：ぶどう園見学及びソラリスについての講話、収穫体験を実施した。また、オーナーにはソラリスで作った炭酸リキュールと飴、期間終了後にはぶどう園に掲示したオーナープレートを贈呈した。

（２）製 造 品：ぶどう飴６００袋（１０個入り）、炭酸リキュール １４３本

（３）収 穫 量：果実 約２７０kg

オーナーに配付（約１１２kg）、飴と炭酸リキュール用（約６０kg）、上記以外の果実（約９８kg）については、有効活用してもらうため市内の福祉事業所等は無償提供した。

（４）ソラリスの広報を兼ねた国際理解教室の実施

ソラリスについての紙芝居や、ドイツ・フライブルク市に関するクイズなどを行い、ソラリスや姉妹都市について学ぶ機会を提供した。

	実施日	施 設 名	人数（人）
1	１２月５日	児童クラブ J a c k キッズ余戸	１０
合 計			１０

Ⅱ. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域での国際理解を深め、多文化共生の推進に努める。

1. 外国語としての日本語教室

(1) 初級・基礎講座

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人市民を対象とした「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報を提供した。

講座名		曜 日	時 間	年間回数 (回)	登録者数 (人)	
					前 期	後 期
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	30	14	30
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	30	16	26
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	30	9	17
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	19	0	22
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	30	12	12
週末	今すぐ 日本語	土曜	13:30～15:30	20	13	19
合 計				159	64	126

○託児サポート：子育て中の外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

・利 用 者：前期0人（子ども0人）、後期3人（子ども3人）

○「今すぐ日本語」では、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施。

(2) 日本語講座サポート研修

「今すぐ日本語」での日本語学習者のサポーター向けに、サポート内容やコツを説明した。

①開 催 日：4月19日

②参 加 者：6人

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対して助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
シリキリヤ サポート クラブ	主な提供品：冷蔵庫、整理棚、布団類 主な経費：倉庫使用料、ガソリン代、 リサイクル費	150,000円 (304,382円)
NPO法人 国際交流 支援協会	主な提供品：冷蔵庫、家具、洗濯機 主な経費：倉庫使用料、リサイクル費、 ガソリン代	150,000円 (356,817円)

3. 外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室で毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

- ①開 催 日：毎月1回（原則第2水曜日）
- ②時 間：13:30～15:30 一人30分程度
- ③場 所：コムズ4階 国際交流会議室
- ④相談件数：2件
- ⑤主な相談内容：在留資格・ビジネスに関することなど

4. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	実施日	内 容	参加者数 (人)
1	5月24日	【第6回今日お茶しない？】 ポーランド出身の留学生がポーランドについて紹介した。参加者から音楽や映画などポーランドの文化についての質問に答えるなどおしゃべりを楽しんだ。	11
2	6月21日	【第7回今日お茶しない？】 インド出身の方をゲストに招き実施した。参加者はゲストが用意したチャイを飲みながら、インドの紹介を楽しんだ。	12
3	7月 6日	【ハワイ文化ショーケース2025】 ハワイ大学からのインターン生、アリーさんとジェフリーさんをゲストに迎え、ハワイの文化や伝統をご紹介した。	19

4	9月 6日	【第7回今日お茶しない？】 韓国出身の留学生をゲストに韓国の文化紹介、方言やおすすめな場所を紹介した。	14
5	12月20日	【“ケデハン”でつながろう！平澤市！】 松山市の友好都市、平澤市とオンラインで繋ぎ、市民同士の交流イベントを開催。 自己紹介、日韓の文化紹介やキャラクターキーホルダーを製作した。	23
6	2月15日	【多文化パフォーマンス・ミニマルシェ】 世界各国の伝統的なパフォーマンスを2階ステージで披露した。文化紹介やワークショップブースで市民と交流したり、フードブースでは食事販売をした。	不明
合 計			79

5. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成や異文化理解を目的とした講座を開催するなど、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

学校からの依頼を受けて外国人を紹介したり、協会職員を講師として派遣し国際理解の促進を図った。

内 容	児童クラブ等 (人数)	小 学 校 (人数)	中 学 校 (人数)	高等学校 (人数)
職場体験			1回(3)	
出前講座	1回(10)			
学校等への 外国人紹介	1回(1)	2回(7)	---	1回(2)

(2) 「中学生世界体験プロジェクト」

令和8年度に実施予定の中学生海外派遣に参加を希望する生徒を対象に、外国人市民や国際交流関連団体の協力を得て、国際交流や異文化体験の機会を提供する講座を実施した。

①日 時：12月21日、1月11日、1月18日、1月25日、1月25日
2月8日、2月22日

いずれも9時30分～16時30分

②内 容：・世界のいろいろな国について知る（JICA愛媛デスクの協力）
・姉妹・友好都市について知る
・「やさしい日本語」でコミュニケーション
・サルサ/太極拳体験
・外国語deおしゃべり など

③ 参加人数：松山市内に住む中学1、2年生

実施日	参加者数（人）
12月21日	36
1月11日	36
1月18日	37
1月25日	23
2月8日	30
2月22日	5
合計	167

（３）ＥＳＤコーディネーター派遣

ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の専門家であるＮＰＯを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

松山市内で国際協力を実施している団体とも連携し、学習や活動をより身近なものとして感じることができるよう、学齢に応じて工夫を凝らして実施した。

	学 校	内 容	
1	松山北 高等学校 1～3年生 計47名 (計4回)	1～2年生 5名	ワークショップ開催に向けての準備 モザンビーク人アーティストと意見交換
		1～3年生 33名	ESDに関する講演の後、ワークショップ・貿易ゲームを実践。世界の富の分配と貿易のルールを通じて世界の不公平や不公正を体感し、意見交換した。
		1～2年生 5名	文化祭でのESD実践として、フェアトレードの取り組みを紹介したり、活動への参加を呼びかける工夫の仕方について意見交換した。
		2年生 4名	ESDの展開、NGO活動、国際協力の仕事に対する意義などについて意見交換を行った。
2	新玉小学校 1～6名 570名 (計7回)	6年生 78名	モザンビーク人アーティストのフィエルとともに、バナナペーパーを使ってちぎり絵を作成。バナナペーパーは、新玉小学校がユネスコスクールに認定された当時のもの。
		2年生 70名	新玉小学校ユネスコウィークで、「モザンビークの食」をテーマに授業を展開した。主食のシマの作り方やお店で食材がどのように販売されているか現地の様子を紹介した。
		4年生 100名	新玉小学校ユネスコウィークで「夢とキャリア～モザンビークの子どもたちとわたしたち～」と題し、子どもたちが将来どのような職業に就きたいと考えているかを学び、自分たちの夢と仕事について考えた。

		5年生 82名	新玉小学校ユネスコウィークで「モザンビークの音楽」と題し、特別アレンジでユネスコ無形文化遺産・ティンビラの演奏を「RTF」の廣岡氏が行い、児童も体験した。
		6年生 90名	新玉小学校ユネスコウィークで「”もったいない”とモザンビーク」と題し、資源を有効活用すること、生活の中で工夫できることなどについて意見交換した。
		3年生 78名	新玉小学校ユネスコウィークで「モザンビークの住・暮らし」と題し、どのような環境で暮らしているのか、日本と比較しながら考え、水運び体験などを行った。
		1年生 72名	新玉小学校ユネスコウィークで「モザンビークで着ているもの」をテーマとしてカプラナ布が赤ちゃんの時からずっと使われていることや荷物を包んで運ぶなど用途について学び、体験した。
3	味生第二小学校 5年生 420名 (計4回)	5年生 105名	松山市内在住外国人（インドネシア・ザンビア・ラオス）の方たちとの交流を実施した。
		5年生 105名	フィリピンの国の概要や歴史などについて紹介し、Community Life が取り組んでいる障がい児の支援活動について紹介した。
		5年生 105名	在住フィリピン人の8名とともに訪問し、児童と直接交流活動を行い、意見交換・質疑応答を行った。
		5年生 105名	Community Life が支援しているフィリピンの子ども達と実際にオンラインでつないで交流を行った。
4	清水小学校 6年生 68名 (計1回)	6年生 68名	「世界の暮らしと私たちの暮らしを比べ私たちにできることを考えよう～モザンビークの現状から～」と題し、現状を学びつつ自分たちにできることを考えた。

合計 訪問校：4校

訪問回数：23回（打合せを含む）

参加延べ人数：1, 117人（教員含む）

（４）ESDコーディネーター研修

ESDコーディネーターの人材育成やコーディネーター同士の情報共有のための研修を行った。

日時：9月13日 13:00～16:00

会場：コムズ4階 国際交流会議室

講師：愛媛大学教育学部 学校教育教員養成課程 家政教育

准教授 竹下 浩子 氏

特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク

常任理事・共同代表 竹内 よし子 氏

参加者数：12人

6. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、文化行事等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	実施日	内 容	参加者数 (人)
1	5月7日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を鑑賞した。	6
2	5月10日 5月11日	【二之丸大茶会】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を体験した。	26
3	10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流した。	17
4	11月8日	【松山市総合防災訓練】 松山市防災・危機管理課主催の防災訓練に要支援者として外国人市民が避難訓練に参加した。	8
5	1月17日	【外国人のための日本伝統文化教室】 (公財)松山市文化・スポーツ振興財団との共催で、外国人市民が尺八の制作・演奏体験を行ったり、講師らの演奏を聞いたりして、日本の伝統文化を楽しんだ。	16
合 計			73

※その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベント・文化祭への招待や参加呼びかけを広く外国人に周知した。

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や、団体の活動活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努める。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。

(1) 国際交流団体による活動紹介

①開催日：12月14日

②受講者数：26人

③内容：市内及び近郊で活動する国際交流10団体による活動紹介の後、個別に質問等ができる時間を設け、マッチングを図った。

2. 交流ボランティアのための語学講座

MICボランティア登録者を対象に、地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を生かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。受講後はMICボランティアとして、今後の活動に学習の内容を生かしてもらえるよう努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光施設や行事の案内など、外国語観光ガイドに必要かつ実践的な語学の習得を図った。

韓国語については、愛媛マラソンに参加する平澤市の来松者のアテンドをする内容とした。中国語については学校で需要の高まる日本語支援員について学習する内容とした。英語については、ガイドをする際の心構えや依頼の多い生活面でのボランティアについて学習する内容とした。

学習言語	回数	受講者数（人）
韓国語	8	10
中国語	6	3
英語	15	23
合計	29	36

(2) ボランティアガイド活動

MIC ボランティア登録者がガイドや通訳を行った。《登録者数：231人》

	実施日	内 容	種別	派遣人数(人)
1	4月5日	松山城・道後温泉等	ガイド	1
2	4月20日	松山市内の情報	ガイド	5
3	5月9日	松山市内の情報	ガイド	10
4	5月11日	松山城・道後温泉等	ガイド	1
5	5月17日	松山市内の情報	ガイド	12
6	5月26日	石手寺、伊佐爾波神社	ガイド	1
7	6月2日	松山城・道後温泉	ガイド	1
8	6月5日	松山城	ガイド	2
9	6月7日	道後温泉	ガイド	4
10	6月8日	松山城	ガイド	3
11	8月11日	松山城	ガイド	1
12	10月5日	松山城・道後温泉・みこし	ガイド	1
13	10月8日	松山城・道後温泉	ガイド	1
14	11月6日	道後温泉	ガイド	2
15	11月7日	松山城・他	ガイド	1
16	11月8日	石手寺	ガイド	3
17	11月9日	松山城	ガイド	2
18	11月16日	松山城	ガイド	3
19	12月6日	松山城	ガイド	1
20	1月15日	松山城	ガイド	1
21	3月8日	松山城・道後温泉	ガイド	3
22	3月18日	松山城・道後温泉・石手寺	ガイド	1
23	3月28日	松山城・道後温泉	ガイド	5
合 計				65

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人とホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

(1) ホームステイ・ホームビジット

登録家庭：231世帯

	期 間	受入 家庭	受入人数 (人)	内 容
1	7月4日～ 7月6日	2	2	アメリカ・サクラメント ローズモント高校生受入 (サクラメント姉妹都市協会から依頼)

(2) My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安としてホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。

①交流実績：春季（6月～9月） 10か国13人の留学生が13家庭と交流

秋季（11月～2月） 10か国23人の留学生が22家庭と交流

②登録家庭：279家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じMICボランティア登録者に同行してもらい、サポートを行った。

《MICボランティア登録：231人》

(1) 医療同行サポート

	実施日	内 容	協力者数 (人)
1	4月 8日	産科受診同行	1
2	4月22日	産科受診同行	1
3	5月 3日	心療内科受診同行	1
4	5月13日	産科受診同行	1
5	5月～6月	美容整形外科受診同行	1
6	5月27日	産科受診同行	1
7	6月2日	産科受診同行	1
8	6月3日	産科受診同行	1

9	6月10日	産科受診同行	1
10	6月17日	産科受診同行	1
11	6月24日	産科受診同行	1
12	6月30日	産科受診同行	1
13	7月1日	産科受診同行	1
合 計			13

(2) 日常生活サポート

	実施日	内 容	協力者数 (人)
1	5月28日～	宿題サポート	1
2	5月～7月	「今すぐ日本語」サポート	9
3	8月12日	運転免許切り替え同行	1
4	8月13日	運転免許切り替え同行	1
5	10月7日	ブラジル人の祖父の戸籍謄本取得補助	1
6	12月23日	運転免許切り替え同行	1
7	1月5日	運転免許切り替え同行	1
8	1月16日	クルーズ船乗船客・乗組員対応ボランティア	4
9	1月29日	免許更新時の高齢者講習のサポート	1
10	2月10日	運転免許切り替え同行	1
合 計			21

(3) 日本語支援員

	実施日	内 容	協力者数 (人)
1	4月	素鷺小学校日本語支援員（中国語）	1
2	4月	勝山中学校日本語支援員（中国語）	0
3	4月	桑原中学校日本語支援員（ポルトガル語）	0
4	7月	素鷺小学校日本語支援員（英語）	2
5	8月	桑原小学校日本語支援員（ポルトガル語）	1
合 計			4

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

	実施期間	事業名	団体名
1	4月1日～ 3月31日	留学生生活支援事業	NPO 法人 国際交流支援協会
2	4月1日～ 3月31日	留学生生活支援事業	シリキリヤ サポートクラブ
3	7月20日～ 8月3日	第18回姉妹都市交流ボーイスカウト松山地区サクラメント派遣事業	ボーイスカウト松山地区協議会
4	8月1日～ 8月4日	平澤友好協会受入事業	松山・平澤友好協会
5	9月5日～ 9月7日	第28回日韓市民友好交流フォーラム	愛媛地球市民の会
6	10月17日～ 10月20日	平澤市「2025 平澤港マラソン大会」への参加	松山国際スポーツ交流実行委員会
7	10月1日～ 10月6日	サクラメント市姉妹都市提携 45周年記念代表団訪問事業	サクラメント松山姉妹都市協会
8	1月6日～ 1月13日	国際交流看護研修「カリフォルニア州立大学サクラメント校看護学部受入研修」	国立大学法人 愛媛大学
9	3月7日～ 3月22日	C.K. マックラチー高校との交流授業	新田青雲中等教育学校

(2) 後援・共催

	実施日等	事業名	団体名
1	4月2日～ 9月27日	みんなの自習室（前期）	にほんご町内会
2	4月12日	学校の書類を書こう！	にほんご町内会
3	6月7日	多文化共生ラウンドテーブル	Community Life
4	7月26日	外国ルーツの子どもへの支援を考える研修会	えひめ日本語教育人財ネット
5	10月18日	第42回マドンナレシテーションコンテスト	松山東雲中学・高等学校
6	7月23～ 8月27日	夏休み みんなで宿題！ちょこっと遊び	にほんご町内会
7	9月6日	みんなで話そう「進路」	にほんご町内会
8	10月8日～ 3月28日	みんなの自習室（後期）	にほんご町内会
9	2月8日	愛媛日韓交流 パンソリを楽しむ	愛媛県韓国文化同好会 セモネモ

6. 情報発信事業

(1) ホームページ・メールニュース・フェイスブック・冊子等による情報提供

生活に必要な情報を外国人市民へ提供するとともに、市民にもホームページ・メール・SNS等での情報発信を行った。

① メールニュース

○MICメールニュース 登録者数：1,871件

当協会が行う事業や、松山市及び近郊の国際交流に関する情報を週1回日本語で配信。

○コスモリアンメール 登録者数：835件

外国人市民に有用な情報を、やさしい日本語及び英語で併記して随時配信。

② Welcome Sheet

外国人と日本人市民によるグループ「ゆい・結・Yui」と連携し、一昨年度改定した「Welcome Sheet」を必要に応じて配布した。

(2) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書等を収集し、市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：31冊

IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努める。

1. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。自転車の老朽化などにより2025年11月16日でサービスを終了した。

- ①設置台数 6台
- ②料 金 無料
- ③貸出件数 60件

V. 評議員会・理事会の実績等

令和7年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

出席等：決議事項について、評議員4人全員の書面による同意の意思表示により異議がないことを得た令和7年4月1日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

○第2回評議員会

開催日：令和7年6月11日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 国際交流会議室

決議事項：令和6年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事及び監事の任期満了に伴う選任

公益財団法人松山国際交流協会評議員の任期満了に伴う選任

出席者：評議員4人、理事2人、監事2人

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

公益財団法人松山国際交流協会事務局長の選任

公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会退職手当支給規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会職員採用等に関する規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

令和7年度第1回公益財団法人松山国際交流協会評議員会の招集

出席等：決議事項について、理事6人全員の書面による同意の意思表示及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和7年4月1日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会業務執行理事の選任

出席等：決議事項について、理事6人全員の書面による同意の意思表示及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和7年4月1日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催日：令和7年5月27日（火）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）3階 会議室2

決議事項：令和6年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事及び監事の任期満了に伴う選任

公益財団法人松山国際交流協会退職手当支給規程の一部改正

令和7年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事7人、監事2人

○第4回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会業務執行理事の選任

出席等：決議事項について、理事8人全員の書面による同意の意思表示及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和7年6月11日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第5回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和7年12月23日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第6回理事会

開催日：令和8年3月26日（木）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 国際交流会議室

決議事項：令和8年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算の承認

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事7人、監事2人